

2008 年 冬学期 第 1 回 物性セミナー

講師 永崎 洋 氏 (産総研)

題目 鉄ヒ素系新超伝導体研究の現状

日時 2008 年 10 月 24 日 (金) 午後 4 時 30 分

場所 16 号館 827

■ アブストラクト

今年の2月に東工大の細野グループによって $T_c=26\text{K}$ を有する超伝導体 $\text{LaFeAsO}_{1-x}\text{F}_x$ が発見されたことを契機に、現在世界中で鉄ヒ素系新超伝導体を巡る研究開発競争が繰り広げられています。 T_c の最高値は 50K を超え、新超伝導体の発見報告も続々となされています。本講演では、これまでの研究の経緯と現状について紹介します。特に、講演者自身の結果を基に、

(1) 結晶構造と T_c との相関

(2) 輸送現象に見られる鉄ヒ素系超伝導体の特徴

について議論する予定です。

■ 宣伝用ビラ

■ 物性セミナーのページ

<http://huku.c.u-tokyo.ac.jp/cgi-bin/FSwiki/wiki.cgi/BusseiSeminar>

■ 駒場セミナーカレンダー (駒場内のみアクセス可)

<http://huku.c.u-tokyo.ac.jp/cgi-bin/webcal/webcal.cgi>